

浜坂病院 公立浜坂病院経営強化プラン策定委員会公募委員の募集

新温泉町の医療行政に広く町民の皆さんの意見を反映させ、町民の参画と協働による病院運営を進めるため、公立浜坂病院経営強化プラン策定委員会の公募委員を募集しています。(ホームページから転載)

◇ 応募資格：令和4年4月1日現在において、町内に住所を有する満18歳以上の者他条件該当者
その他(募集人員：2人程度、任期：令和4年12月1日から令和6年3月31日まで)

* 応募方法等の詳細は、浜坂病院の公式ホームページまたは病院経理係へお問い合わせください。

令和3年3月「浜坂駅周辺活性化方策検討業務」附帯決議

令和3年度新温泉町一般会計予算の審査において、8款土木費4項都市計画費1目都市計画総務費12節委託料に計上されている浜坂駅周辺活性化方策検討業務について、担当課の当該予算執行にかかる検討及び準備が整っていないことが判明した。

当該地域は本町の振興に大きな影響を与える存在であり、浜坂中心市街地の活性化は喫緊かつ重大な課題でもある。それ故に、地域の合意形成への道筋設定をはじめ、推進には十分な検討を重ねる必要がある。また、本町合併前の平成15年度には当該地域を対象として「浜坂町中心市街地活性化基本計画」が策定されており、地域住民を含む多くの方々が関わられた経緯もある。

ついては、本件事業の執行にあたって、下記の事項が満たされるまで、当該予算を執行すべきではない。

(記)

本事業の十分な準備検討に基づき、総務産建常任委員会で当該執行計画の詳細な説明を行い、了承を得ること。

(この付帯決議は、河越が発議し、本会議で可決されていました。)

活性化検討事業中止理由(6月議会河越質問への答弁)

昨年度、駅前の活性化方策を取りまとめるに当たりまして、ソフト事業においては行政主導ではなく住民主導で進めていただきたいとの思いで、商店街関係者の方々と話し合いを進めてまいりました。しかしながら、話がまとまらず、今日に至っております。

また、駅前の広い範囲で地図混乱地域があることが判明をいたしましたので、業務委託の発注を見合わせ、700万円全額を3月議会で補正減額させていただいたものです。(以上、答弁)

この文脈は、「話しがまとまらなかった責任を商店街関係者の皆さんに転嫁している」としか解釈できません。

むだばなし

今年、30数年ぶりに温泉走ろう会の会員として、村岡ミニミニ駅伝に補欠繰り上げで走りました。一般のマラソン大会は重圧なく参加できますが、駅伝は勝負に関係なく負担を感じ、タスキをつないだ後の解放感は格別なものがあります。

また、今年は町の岸田川駅伝の井土体育友好会Bチームにも当初補欠登録してもらい、配慮もあって3区を走ることになりました。

高齢者でもあり、十分な走りはできませんでしたが、タスキをつなぎました。反省会では、後輩諸君の頼もしさを実感できました。チームづくりには補欠や裏方の人の存在が重要になります。小さな活動が地域づくりにつながる重要なことであると再認識させられました。



風力発電関連新情報はありませんでした。



8月12日、愛犬との散歩中に出会った「ツマグロヒョウモン」のメス。私が蝶々を本気で追いかけていた50年以上前には、この種を見かけたことは、ありませんでした。今年も蝶の数は少なく、2、3年前でさえ、珍しくなかったアゲハチョウやキアゲハでさえ、それぞれ今年遭遇したのは、1回ずつでした。

私たちの町も「自然豊かな故郷」とは言えなくなっているのではないかと心配します。

この町政報告は年4回発行し、今回で20号になりました。号外を含めて22回発行しました。

その都度、余分を用意してきたためバックナンバーが大量に残っています。

行政課題の変化と私の悩みながらの5年間の立ち位置の変化をお読みいただけませんか。全号を一括でお届けしますので、ご連絡ください。

町政報告 2022年秋 第20号

柝の実 通信

(ただちゃん つうしん)

新温泉町議会議員

かわ ぐえ

河越ただし

住民の幸せ追求が町政のつとめ

発行：河越 忠志

〒669-6801 新温泉町井土978-1 TEL0796-92-2428(事)92-2550(自)

E-mail: take2428co@coffee.ocn.ne.jp http://take2428.com/

芝生が映える快晴の「但馬牧場公園」



9月22日定例会閉会

決算審査を主とする9月定例議会が閉会しました。

5回目の決算審査にあたり、理解が進んだと同時にやや「あきらめ」の境地に陥った感があります。

私は、9月議会を1年の反省の議会だと捉えています。そんな中で、様々な計画や在りようを指摘し、意見を述べてきた結果として、この9月議会に議員としての自分自身がさらされているように思えます。

決算について質問し、意見を述べるときは、自らを反省するときでもあります。

それまでの指摘や意見が、活かされなかったことの現実を突き付けられた9月議会であったと感じています。

町政運営 そこに「地域愛」は、あるん？

令和3年度一般会計決算

昨年3月議会で、「浜坂駅周辺活性化方策検討業務委託」の予算執行に関する付帯決議を河越が発議し、可決されましたが、結果として、本年3月議会において、当該予算を全額取り下げる補正が行われました。理由は「駅前関係者のみなさんと当局の意向が合わなかった。」ことだと後日、分かりましたが、対応策も方針もない姿勢に「まちづくりを投げ出したも同然」と指摘し、令和2年度決算に続き、私一人だけ、決算認定に反対しました。

浜坂地域の認定こども園整備関連補正予算計上なし

本年の7月の民生教育常任委員会で示された方針は、浜坂認定こども園及び大庭認定こども園両園の耐震改修整備でした。

また、①2億円掛けてでも仮設園舎を設置、②浜坂認定こども園整備の完成を遅らせることなく、大庭認定こども園を先に完成させる工程を放棄した計画、③防災対策無き計画は、浜坂認定こども園の耐震診断補正予算が8月に可決されたとは言え、子ども達や子育て世代への「配慮」が感じられず、実施に向けた議会の理解は容易ではないようにも思われ、更なる遅延が気になります。

監査意見

決算監査意見では、例年同様、入札及び随意契約等の適正化等が掲げられましたが、具体的な改善指摘がなければ、行政のコンプライアンスの徹底も曖昧な領域にとどまってしまいます。

一般質問「公共調達による地域の活性化策」

公共調達による地域経済への影響は？

【町長】 公共調達は必要とされる公正性、経済性、適正履行の契約の3原則を確保しつつ、公正な競争を図りながら、町内業者の育成、町の産業振興及び雇用促進と確保を図る役割を担っている。（答弁）

【河越】 監査指摘があるように、相当な額の随意契約があり、ほぼ、町外業者への発注になっている。改善が困難な部分は、大方が理解していても、工夫が見られない。雇用の促進を目指すのであれば、入札制度の中で明確な発信が必要だ。その努力も見られない。

最低制限価格基準と制度の運用は適切か？

【町長】 最低制限価格は、採算を無視した低価格で商品を投売りするダンピングの防止を目的としている。公共工事でのダンピング受注とは、公共工事の適正な施工が通常見込まれない契約締結を指す。つまり、工事の手抜き等を招き、品質の低下が懸念されるほか、下請業者へのしわ寄せ、公共工事に従事するものの賃金、その他の労働条件の悪化、安全対策の不徹底等につながりやすく、ひいては、建設業の若年入職者の減少の原因となるなど、建設工事の担い手の育成及び確保を困難とし、建設業の健全な発達を阻害するものである。（答弁）

【河越】 本町の制度は、千円の差であっても失格になる。雇用状況や地域貢献度に関わらずである。品質管理は他力本願ではなく、発注者が他の力を借りてでも主体的に実施すべきものであり、町内の建設業者を育成するのであれば、平等に恩恵を与える制度を構築すべきである。ランダム係数の導入も、不正防止にはなっていない。

なぜ、本町は入札の多くの部分を隠すのか？

【町長】 当町の入札制度は指名競争入札を採用し、これまで、制度の適切な仕組みを構築しながら運用を図ってきた。指名競争入札においては、そのメリットの一つに、中小企業の受注機会の確保に対する配慮が上げられ、そのメリットを最大限生かすため、現在まで公表を行ってこなかった。（答弁）

【河越】 指名競争入札と入札に関わる様々な事柄の公表とは別の問題であり、公表が入札の目的を阻害するものではない。むしろ、指名理由或いは基準を公表しないことは、指名されなかった事業者の不信感を生じさせる。正に、ルールなき公権力の乱用を意味する。



町にとって望まれる公共調達（工夫は可能）

目指す方向性を示せ

行政がまちの活性化にとって望ましい事業者像を示せば、各事業者がそれぞれの目標に沿った努力ができる。

受注につながり、事業の安定化、従業員の雇用環境の改善、最終的に持続可能な地域づくりにつながる制度が必要だ。

望ましい事業者像

技術力を備え、地域を支えてくれる事業者であることが重要だ。

具体的には地域の人を多く雇用し、地域の事業者にも多くの発注をし、模範となる活動に取り組んでいる事業者を「良し」とすべきではないか。

町内に専門事業者があっても、価格比較だけで、町外業者に発注することは、望ましいことではない。

公平を目指す数値化

地元事業者を数値比較化し、人為的な切り捨てのない、事業者の努力が報われる制度づくりが急務だ。

浜坂地域の認定こども園整備・子育て支援これで良いの？

7月の民生教育常任委員会でこども教育課が示した整備方針

こども教育課提示工程：令和7年7月全供用開始完了

工 程	年月 (施工)	R04					R05					R06					R07									
		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
浜坂認定こども園 【耐震診断・補強計画】																										
浜坂・大庭認定こども園 【耐震改修・仮園舎設計・監理】																										
認定こども園仮設園舎 【新設設置・撤去工事】	1 事 業 者																									
浜坂認定こども園 【耐震改修工事】																										
大庭認定こども園 【耐震改修工事】																										

7月の常任委員会及び8月の臨時議会で示された計画は、浜坂・大庭両認定こども園を耐震改修により整備するというものでした。しかも、洪水に対する新たな対策を全く講じないというものです。大庭認定こども園には、0歳児保育を設けない方針も示されましたが、理由は不開示です。更に、移転先として反対のあった「すこやか広場」に2億円掛かっても仮設園舎を設置すると言うのです。少なくとも、若者定住・移住やその他の子育て支援など必要とされる施策ができていない現状で、そのお金の使い方容認する町民は多くないと思います。（今後の更なる事業遅延が懸念されます。）

なぜ耐震改修に至ったか？ 4月に実施された各議員との個別懇談により、浜坂認定こども園の現在地での改築整備に多数の賛同が得られないことを町長が自覚されたことによるものです。

私は2年以上前から浜坂・大庭両園の耐震改修整備を提案してきました。

目的① 耐震補強設計が完了している大庭認定こども園の早急な整備。

目的② 浜坂認定こども園の現在地での洪水・職員負担減対策を伴う整備の実施。

目的③ 耐震改修での有利な時限制度の利用。（過疎債の枠を残すため）

目的④ 他の施策のための余力確保等。

①、②共、将来の長期計画は必要です。現在の計画は、浜坂認定こども園の現在地整備（町長公約）だけを目的としています。指摘されてきた洪水対策もなく、



将来展望も示されていません。安心を提供できない計画は、子育て支援にはなりません。

子育て環境における改善課題

子育てに求められる地域の条件

- ① 世帯で安定した所得が得られること。
- ② 医療・教育環境が整っていること。
- ③ 治安を含めて安全な地域であること。

目指すべき子育て環境整備等

- ① 共働き、副収入など所得を増す環境
- ② 町独自の教育費用助成制度
- ③ 公営住宅・宅地等居住費軽減制度
- ④ 保育・放課後児童クラブ等の充実
- ⑤ 地域医療・高校を含む教育環境維持

極端な少子化傾向にある本町の小学校では、小規模校の利点とは言い切れない状況もあり、教育委員会が未だ再編を提起されないことに疑問を感じます。また、地元浜坂高校の存続についても、町としての明確な積極的姿勢が示されていません。

多くの必要な施策が提案されず、施設過多と言われながら、令和7年度までの時限制度である緊急防災減災事業債の最大限の活用ができていないことも残念であり、私自身も反省しています。